

ランダル・シドニー・ジョーンズ OECD 日本デスクシニアエコノミストに対する
叙勲（旭日小綬章）の授与について

平成 27 年 4 月 29 日
OECD 日本政府代表部

1. 概要

平成 27 年 4 月 29 日、日本政府は平成 27 年春の外国人叙勲受賞者の発表を行いました。外国人叙勲受賞者の 1 名として、ランダル・シドニー・ジョーンズ (Mr. Randall Sidney Jones) 経済協力開発機構 (OECD) シニアエコノミスト (経済総局国別審査局国別審査第三課日本韓国デスクヘッド) が、日本経済分析等を通じ、OECD や国際社会における日本経済への理解促進、対日政策形成に多大な寄与をした功績により「旭日小綬章」を授与されました。主な経歴及び対日功績は以下のとおりです。

2. ジョーンズ氏主要経歴

- (1) 米国籍、昭和 30 年生まれ
- (2) ミシガン大学経済学博士号を取得後、米国大統領経済諮問委員会、日米経済協会等での勤務後、平成元年 OECD 事務局入り。
- (3) 平成 5～9 年日本デスクエコノミスト、平成 14 年から同シニアエコノミストとして、日本経済分析に従事。OECD 随一の日本経済専門家。

3. 主な対日功績

- (1) 日本経済分析を通じた我が国の改革支援
年 2 回のエコノミックアウトルック等における経済見通し、OECD 日本経済審査報告書の執筆等を通じ、我が国の経済政策や構造改革に向けた取組みを支援。特に労働市場の二極化、所得格差、財政再建、電力市場や農政改革など、我が国にとって重要な政策課題の分析、提言を通じて我が国の政策論争にも大きな影響を与え、我が国における経済再生に向けた改革の取組みを支援。
- (2) OECD における対日政策形成への貢献
日本経済、日本社会の専門家として、OECD における対日政策形成、日本に対する政策メッセージの発出に大きな貢献。累次の事務総長訪日において主要な役割を果たしたほか、11 年 4 月の震災直後の訪日にも同行し東日本大震災における復興支援メッセージ発出、OECD 東北スクールの立ち上げ、我が国が議長国を務めた平成 26 年 OECD 閣僚理事会等においても重要な役割を果たした。

(問い合わせ先)

OECD 日本政府代表部 平井 (01 53 76 61 44)